

第8回 日韓空間情報フォーラム2025 in 大阪 開催報告

本フォーラムは、2009年から続く日韓両国の測量技術者による交流イベントです。当初は「日韓レーザ計測シンポジウム」として始まりましたが、議題が空間情報技術全般に広がったことから、2017年より「日韓空間情報フォーラム」と改称し、今年で8回目を迎えました。日本と韓国が交互に主催しており、今年度は日本がホストとなり、2025年日本国際博覧会「大阪・関西万博」の会期に合わせて例年より約2ヶ月早い9月に「社会・技術動向講演会 2025 in 大阪」と併せて開催されました。未来社会のデザインに役立つ「デジタルツイン」を大きなテーマとして、韓国から4件、日本から3件の最新の測量・空間情報サービスに関する発表が行われました。また、2009年の第1回より多年にわたりフォーラムの運営に尽力した当協会の顧問 齊藤和也と、元株式会社パスコのチェ ジェヨン氏に韓国空間情報産業協同組合から感謝状が授与されました。

ますます多様化する空間情報産業において、日韓双方の技術交流および技術者間のネットワーク構築の場として、今後も継続して開催していく予定です。

運営に携わった空中計測・マッピング部会、並びに通訳等でご尽力いただいた皆様に、改めて御礼申し上げます。

1. 行 事 名：第8回日韓空間情報フォーラム 2025 in 大阪
2. 開催日時：2025年9月11日(木) 13:30～17:45
3. 会 場：グランキューブ大阪 801-802会議室
4. 参加者数：69名(日本側51名、韓国側18名)
5. 主 催：公益財団法人日本測量調査技術協会(空中計測・マッピング部会)、ソウル市立大学空間情報研究センター、ソギョン大学空間情報研究センター、韓国空間情報産業協同組合、韓国技術士会

プログラム

| 時 間 | 内 容 | 備 考 |
|-------------|--------------|--|
| 13:30～13:35 | 開会宣言 | 公益財団法人日本測量調査技術協会 空中計測・マッピング部会 部会長 大鋸 朋生 |
| 13:35～13:55 | 開会挨拶 (日本) | (公財)日本測量調査技術協会 専務理事 川久保 雄介 |
| | 開会挨拶 (韓国) | 韓国空間情報産業協同組合 理事長 キム・ハクソン |
| 13:55～14:25 | 発表 (韓国-1) | MOBILTECH Co., Ltd. (モビルテック) 代表 キム・ジェスン MOBILTECH - NVIDIAパートナーシップ基盤デジタルツイン活用分析 |
| 14:25～14:55 | 発表 (日本-1) | 株式会社かんこう 川瀬 正志 航空レーザ/GIS/3Dマップ連動360°ライブビューで実現する山村部の地籍調査DX |
| 14:55～15:00 | 休憩 | |
| 15:00～15:30 | 発表 (韓国-2) | WAVUS Co., Ltd. (ウエイバス) 副社長 クォン・ウソク 空間情報基盤都市行政パッケージサービスGeOnCity |
| 15:30～16:00 | 発表 (日本-2) | 株式会社パスコ 柳瀬 洋輝 iPhone Proを用いた三次元計測 |
| 16:00～16:30 | 発表 (韓国-3) | EGIS Inc. (イージス) 部長 キム・キョンファン 3D GIS基盤デジタルアースプラットフォームと精密測量情報の融合事例 |
| 16:30～16:35 | 休憩 | |
| 16:35～17:05 | 発表 (日本-3) | ESRIジャパン株式会社 ハン・サンウォン(韓 尚沅) デジタルツインに関する世界的なトレンド |
| 17:05～17:35 | 発表 (韓国-4) | WAYS1 Inc. (ウェイズワン) 理事 キム・ドンス モビリティサービスのための精密地図技術の進化 |
| 17:35～17:40 | 総合討論 (質疑) | 司会者 公益財団法人日本測量調査技術協会 空中計測・マッピング部会 副部会長 小田 三千夫 |
| 17:40～17:45 | 閉会挨拶 (韓国) | The University of Seoul (ソウル市立大学) 空間情報研究センター センター長 チェ・ユンス |



韓国訪問団と日本主催者&発表者集合写真



発表 (韓国 1)



発表 (日本 1)



発表 (韓国 2)



発表 (日本 2)



発表 (韓国 3)



発表 (日本 3)



発表 (韓国 4)